

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

町田市議会議員
会派「無所属」に所属
吉田 つとむ
自宅 042-795-7361(TEL&FAX)
yoshidaben@gmail.com



スクールバス導入を求める決議案に賛成討論：多数で可決

今議会最終日(採決の日)、冒頭にスクールバス導入を求める決議が「動議」で提出されました。こうした動きは大半意図があるわけで、動議内容に質疑をする議員(反対者)もありました。無所属会派では、スクールバス導入を求める決議案に対して、「安全な通学を保障する立場」で賛成討論を行いました。この決議案の表題は、「町田市新たな学校づくり基本計画」における通学環境改善のためのスクールバス導入を求める決議」となっています。討論では、学校統合に賛成するわけではないことを明らかにして、「町田市立公立小中学校の統廃合自体にたくさん問題を持っているものですが、その点は置いて、町田市のように道路が狭い、曲がっている、かつ、車の通行量が多いところにあつては、バス通学の利便性は極めて高いと考えられます。」「先日、視察した香川県東かがわ市は、英語教育を優先した全市小中学校一貫校制度が導入されていました。通学方法では、エリア的にバス通学の選択が出来、常用されていました。町田市もところによっては、とりわけ、小学生の通学にはスクールバスの利用が安全だと考える次第です。」と述べました。



◎町田市議会の所属委員会や個別の会派では、それぞれに行政機関や他の議会を対象にした地方視察を行っています。上記の掲載する記事は、それらと異なり、独自に民間の展覧会や公的施設に直接申し込みを行い、現地見学したのものも含んで掲載しています。

◎これらの個人で行った見学・インタビューも、議会の一般質問や質疑に活かしています。

請願審査：学校統合の方針に相次いで異議

令和6年度の議会でも、町田市が進める学校統合方針に関して、その取り止めや見直しを求める請願が多数提出され、議会で審査が行われました。結果は行政(教育委員会)の方針を支持する結論が出ました(1件継続審査)が、下記に記したように、問題が新たに浮き彫りになりました。無所属会派は、所属議員3名のため、所管する文教社会常任委員会のメンバーを出していませんが、これらの請願に関して、筆頭署名、あるいは本会議で賛成討論を行いました。学校統合をすれば、通学時間が長時間になる、あるいは町田市が見込む路線バスの利用では、児童の利用時間が大幅に制限される点をマイナス要素として指摘してきました。

視察した公立小中一貫校：少人数編成のクラス構成



さらに、今後、私立学校も含めて、教育費の公費負担割合が多くなる傾向が強まることが予測されますが、そのことで公立校から私立校を選択肢に入れることが普通になるでしょう。町田市の公立学校の学区編成の構想がまるで私立学校の存在を無視した発想になっているのではないかとする点を新たな課題として提起しました。単純に人数合わせの統合による学区編成を進めると、鉄道利便性が高い地域にあつては、沿線の私立学校を選択する児童・生徒が大幅に増加する可能性が高く、町田市が想定する学校の適正規模の論理が通用しない時代がやってくるのではないのでしょうか。

町田市議会 会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
(町田市庁舎3F)
☎042-724-2171
「無所属」会派室



「無所属」会派のスタンスと活動

無所属議員3名で構成し、政党の影響を受けることなく、しがらみのない立場で行動している会派です。この2年間の活動は「住みよい町田」を創るため市民の声を届けてきました。芹ヶ谷公園パークミュージアム計画関係の請願署名議員や、計画予算を削る予算の修正案を会派として提案してきました。

また、学校統廃合の問題についても、市民の皆様からの請願の筆頭署名議員や本会議・委員会でも問題点を取り上げてきました。いずれの計画も市が計画を示した後に市民から異論が噴出してきている施策です。私たちの会派は市民の立場にたち活動をしてまいりますので、引き続き皆様の声をお聞かせください。



今期の当初予算に修正案を提起し、正面から市民の税金の使い方を問いました。具体的な提案を議会の内外に示し、行政の予算案に賛成する議員からも共感を呼びました。なお、この「町田市立国際工芸美術館」は国際に匹敵する美術品を備えているレベルではなく、歴史を超えた価値を提供できる工芸品はほとんど見当たらず、一部愛好家に関心を示す作品群を有しているに過ぎないものと言えましょう。

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、会派「無所属」は自由に賛否を決める場合もあります。

◎住民請願は事務局に提出、相談して下さい。署名が必要なものは会派に連絡して下さい。

当初予算に修正案を提出：存在感を出す

無所属会派が提案した修正案は否決されました

2024年(令和6年)度当初予算案に対して、無所属会派ではその修正案を出し、本会議で議論しました。

予算の修正案のポイントは、小中学校の統廃合計画にもとづく事業の取りやめ、及び、(仮称)国際工芸美術館の整備事業を取りやめることを提案したものです。双方とも計画の取りやめの提案であることで、予算案における歳入、歳出の数値の削減、さらに債務負担行為の削除を多岐にわたって記載しています。後者の場合はすでに整備の関連事業が始まっていることで、これからの事業の取りやめの修正案であることで、整備事業とその運営事業の削除を提案したものでした。金額が大きいものでは、債務負担行為で、国際工芸美術館の整備事業では、36億2194万5千円の削減を求め、そのパークミュージアム整備・運営事業では、110億8956万1千円の削減を求めています。つまり、国際工芸美術館の新設自体を本体建築工事開始前に取りやめる提案としているものです。他方の前者の分では、南第一小学校外仮校舎借上事業36億3千万円、本町田地区・南成瀬地区統合新設小学校整備等PFI事業248億3128万4千円などの削除となっています。*主要な収蔵品「鼻煙壺」



町田市議会議員・情報公開の街

吉田つとむ

交通文化都市・4期連続トップ当選



左上 blog
右上 HP
左下 Mail



インターン体験記①-1 佐々木 瑛

小学校のデジタル教科書の進展動向を学ぶ

教科書会社を訪問し、小学校のデジタル教科書を見せて頂きました。デジタル教科書とは、教科書の内容がそのまま ICT 端末に映し出されているものです。私が学んだデジタル教科書のメリットを二つ、ここで紹介します。



まず1つ目は誰もが読める教科書になることです。デジタル教科書を用いることで、画面の色を反転する、読み上げ機能を使う、文字の大きさを変えるなどの、教科書を自分なりのわかりやすい形に変えることができます。2つ目は先生が生徒の回答を集め個々の答えを1度に見ることが出来ることです。これにより、生徒一人一人の出来具合を効率的に見ることが可能になります。そのため、教師が子供の実力をより把握しやすくなります。

しかし、デジタル教科書には課題もあります。1つ挙げるなら ICT 端末を用いて教育を受けていない教師が、ICT 機器を使って上手く授業をする事の難しさがあります。教員が最新技術を迅速に使いこなし、学びの効率化を促進させるためにも、教員向けの ICT 機器活用の方法を学ぶ機会が今後さらに増えて欲しいと感じました。

東京学芸大学2年生 佐々木 瑛 (第53期生)

会派メンバーの役務と担当業務

「無所属」会派は政党に属しない議員で構成

無所属会派は3名が所属し、どの政党にも属しない議員で構成しています。町田市議会は最低3名の議員で会派を構成できることになっており、今期は全部で6会派が組織され、それ以外の議員は(一人を含めて)諸派と呼ばれています。3名以上の議員で会派を組めば、議会運営委員会や特別委員会にも正式メンバーを人数に応じて出すことができます。

会派の代表者は「幹事長」と呼ばれ、松岡みゆき議員が就任し、本会議で会派の代表質疑を担当します。また、その松岡議員は文教社会常任委員会の委員長(災害対策委員会メンバーを兼務する)を務めています。新井よしなお議員は、建設常任委員会の副委員長を務めています。無所属会派では、いわゆる政策立案調整の政調部門を新井議員が担当しています。さらに、議会運営委員会、議会改革特別委員会の委員にも就任しています。加えて、多摩ニュータウン環境組合議会議員にも就任しています。吉田つとむ議員は、総務常任委員を務め、他に災害対策委員にも就任しています。また、外部の機関では、町田市交通安全推進協議会の会長に就任しました。



町田市議会 会派「無所属」

政党に属しない無所属議員で構成する

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
(町田市庁舎 3F)
☎ 042-724-2171
「無所属」会派室



会派室で打ち合わせ中

一般質問：町田市に無い都立中高一貫校

今期の一般質問で、町田市内の東京都の施設が少ないこと、無いことに関して尋ねました。その中で東京都の学校施設では、人気が高い都立の中高一貫校が1校も無い理由を質問したものです。なぜ、こうした問いかけをしたかと言えば、町田市内の都立校(全8校)では高校入試の応募倍率が高い学校もありますが、他方で定数未滿、あるいはギリギリという場合も生じているためにその将来の存立が懸念されるためでした。

この質問に際して、私は通告時に十分な趣旨説明をして、教育委員会が聞き取りをしている(ヒアリングと言う)にも関わらず、答弁は「町田市は高校を運営せず、東京都がやっている」と言うものでした。「そんなことは誰でも知っていることで、町田市(教育委員会)が東京都に都立の中高一貫校の開設・誘致ができないかを要請したか、していないかを尋ねている」と再度強調しましたが、町田市教育委員会は町田市立の小中学校の統廃合の既定路線を推し進めること以外に関心が無いかのようでした。



都立中高一貫校の一つ(ウキペディア写真)

町田市には東京都の産業支援施設が無い

町田市民は都税を納めるだけで、還元は無い

<今期の一般質問>東京都は八王子市に大型の産業支援機関や展示場を備えた「たま未来メッセ」を開設し、多摩地域のメーカーや商社が参加した展示会も開催できる体制をスタートしています。少々小ぶりですが、東京ビックサイトの多摩版です。そこで、「オープンイノベーションフィール多摩」と言う東京都の施設が多摩地域に複数あるかと聞きました。



多摩地区第2の都市である町田市にも「オープンイノベーションフィール多摩」が3番目の施設として開設する必要があり、東京都に誘致要請をするべきではないかの提案趣旨でしたが、町田市から東京都に言葉をかけるのは敷居が高い感覚が何え、それは東京都が行っている事業であるという認識を超えるものが無いのが残念でした。一方で、東京都の児童相談所は市民や市議会の要望が高い中で、町田市から東京都への要望が実を結び、来年度に開設への運びになっていますが、産業施設誘致の分野については、町田市側に方策が無いという大きな違いが生じています。こうしたことが、町田市から20歳代には転出者が多いという理由の一端を作っているのではないかと考えています。

◎一般質問は、議員個人と行政のやり取りです。石坂市長の時代になって本人が答弁をせず、決して好ましくはありませんが、部長のみが答えるケースが増大しています。会議における行政の発言は、部長答弁としても市長の責任が無くなるものではありません。

◎ インターンシップは、本会議や委員会の会議を身近に傍聴したり、行政機関の仕事・施設を訪ね、見学・インタビューできる日程を組んでいます。また、民間企業の経営者の方や過去のインターン体験者の話を聞ける機会も設定しています。大学祭の10校ほどを見学評価は毎年行っています。見学希望があればお知らせください。